

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品、商標権・・・・・・定額法

(2) 引当金の計上基準

賞与引当金・・・・・・職員に対する賞与の支給に備え、支払見込額のうち
当期に帰属する金額を計上している。

退職給付引当金・・退職給付に係わる見積債務額から年金資産額を控除したもの。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産 定期預金	3, 000, 000	0	0	3, 000, 000
合 計	3, 000, 000	0	0	3, 000, 000

3. 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産 定期預金	3, 000, 000	—	(3, 000, 000)	—
合 計	3, 000, 000	—	(3, 000, 000)	—

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	971, 400	847, 007	124, 393
商標権等	346, 196	207, 714	138, 482
合 計	1, 317, 596	1, 054, 721	262, 875

